

# 自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251  
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2010 8.10  
8.25  
No.1010

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円  
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

県本部役員学校  
パート  
9月25日(土)～26日(日)  
蒲郡荘



梅野敏基県本部  
委員長あいさつ

たたかう労働組合として、住民のくらしを守る、働きがいある職場をめざす、2010年方針をみんなで作ろう。

大企業・大資本に富が集中し、労働者・国民は、貧困と負担増で格差と貧困

# 要求実現へ、元気な職場 力強い組織をつくらう

「貧困と格差をなくし、憲法と地方自治を守り発展させ、職場・地域からたたかう」をメインスローガンに、自治労連愛知県本部の第105回定期大会が、8月7日、名古屋国際会議場で開催されました。大会は、33単組143名の代議員・中央委員が出席し、雇用破壊や賃金抑制をはね返そうと、3時間にわたる討論を展開。はたらくルールの確立、住民のくらしを守る職場、自治体づくりに向けた2010運動方針を確立、新しい役員を選出しました。

「政治を変えたい」の国民の願い大切に  
大会ははじめに、梅野委員長が「住民のくらしを守り、働きがいのある職場をめざした、生き生きとした方針をねりあげよう」と開会あいさつ。その後、来賓として野村幸裕自治労連中

央執行委員長 榎松佐一愛  
労働議長、日本共産党から  
本村伸子さんから激励のあいさつを受けました。  
第1号議案、2010年度運動方針案を提起した伊藤書記長は「昨年の総選挙で『政治を変えたい』という国民の選択をもとに誕生した民主党政権が、後期高齢者医療制度の廃止や普天間基地の県外移設など、自らの公約を投げ捨て参議院選挙で大敗した。これは、国民が引き続き政治の変化を求めている結果である」と、選挙後の情勢を分析。その上につけて、運動の基本方針として、①自治体公



会場をつつむ  
職場からの声  
討論

務公共すすべての労働者を視野においた、人員・権利・賃金闘争の発展をめざす。②「地域主権改革」に対して憲法をいかし、地方自治の拡充をめざす。③法人税減税・消費税増税を許さず、財界に社会的責任を果たさせ、賃金・雇用・社会保障の改善、貧困の解消をめざす。④普天間基地の無条件撤去と、憲法を守りいかす。⑤すべての要求と課題を組織の強化拡大・次世代育成に結びつけ、3万自治労連・非正規公共1万人の組織化をめざす、ことを提起しま

その後、県本部財政のあり方や「県本部関連協」の名称、組織のあり方など、組織強化委員会が示した「答申」にもとづいて、3万県本部建設に全力を上げるなど、「答申」のとりあつかいについて提案。また、予算・決算案の提案と会計

の中に放り込まれている。「くらしを守れ」、「格差と貧困をなくせ」のたたかいがますます重要になっていく。

4月の一斉地方選挙は要求実現のたたかいとして重要。社会の流れを変えてきたのは労働者であること、全労連・自治労連のたたかいの積み重ねであることに確信を持ち奮闘しよう。

2つ目に、地域主権改革一括法案は、人件費削減・民営化を狙っている。行政のあり方に関心が強まって

3つ目は、組織拡大と要求実現のたたかいが、住民や組合員のくらしを守ってきた。来年2月の知事選挙、

## 年令差別とマイナス勧告を許すな 職場から決議運動を大きく

監査報告を受けた後、午後から討論と財政小委員会が開催されました。  
全体討論では、「水道検針員労組を立ち上げ、契約を55歳から、57歳の誕生日までに延長させた」（名古屋水道検針員労組）、「仕事の見直しを通じて、人員確保が前進」（豊橋市職労）、「保育職場のサービスマン残業の実態を踏まえ運動を強める」（名古屋市職労）、「市の職員の合併反対に励まされている」（西尾市職）、「パート部会を立ち上げ要求を前進させた。新しい力で、組織が強化されている」（岩倉市職）、「地域の中で対話をしながら市民アンケートをとる」（名古屋市職労）、「公務災害認定を必ず高裁で勝ちとる」（自治体一般）など、26名の代議員が、教訓や今後の決意を発言しました。  
並行してすすめられた財政小委員会報告を受けた後、執行部から、「市民との共同の追求、賃金闘争の再構築、3万人県本部建設に全力をあげよう」と、まとめられました。採決では、運動方針から当面のとりくみまで、1号議案から7号議案のすべてが圧倒的多数で採択されました。その後、新執行部を選出し閉会しました。



# 核廃絶への大きな流れ

## 原水爆禁止2010世界大会

### 自治体ぐるみ、住民ぐるみの運動を

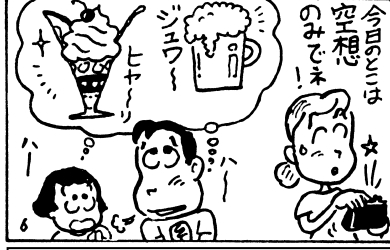


6日、広島市役所前での献花行動  
名古屋市職労の仲間が折り鶴を

8月4日、原水爆禁止世界大会in広島が開幕し、自治労連愛知県本部からは23人が参加。  
広島・長崎の被爆から65年 初めてアメリカの代表が参加するなど「ふたたび被爆者をつくるな」「核兵器をなくせ」という被爆者の声は、世界の揺るぎない流れとなっています。  
今年5月のNPT再検討会議に690万余の署名を積み上げ、16000人もの代表を派遣した私たちの行動は、核兵器廃絶を求める大波となつて国連本部を包みこみ、「核兵器のない世界」の実現は国際政治の明

# 「言いたい劇場」

小菅りや子



安くて安心大きな保障  
自治労連共済に入ろう

### 最賃の引き上げで「くらせる賃金」を!

愛知の最低賃金は、いま732円。中央最低賃金審議会の小委員会は5日、今年度の最低賃金の改定について、時給10円〜30円(愛知10円)を目安に引き上げる答申をおこないました。これにより、全国平均で時給15円増の728円になります。しかし、東京・神奈川県など12都道府県で、最低賃金で働くよりも生活保護水準のほうが高くなる逆転現象がおきています。

今回の引き上げ「目安」は、政府目標の時給800円の達成にはほど遠い水準で、地方ごとに格差を拡大していくこととなります。

8月6日に愛知審議会に伝達されましたが、「目安」の範囲にとどまらず、低賃金労働者の生活実態にもとづいた、貧困と格差の解消、消費不況の克服という視点を含めた議論が求められています。



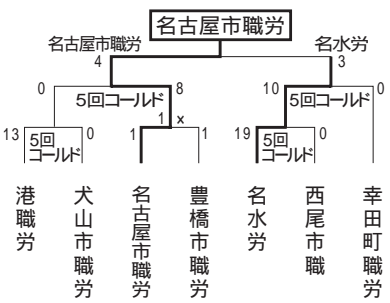
## 7チームが熱戦!!

### 2010 第32回自治労連愛知スポーツ大会 軟式野球大会



優勝 名古屋市職労チーム

準優勝 名水労チーム



7月31日(土)、豊橋市・石巻運動広場野球場にて第32回県本部野球大会を開催。7チームが熱戦を繰り広げました。

決勝戦は、粘りのピッチングとワンチャンスを生かした攻撃の名水労と、攻守バランスのとれた名古屋市職労チームが進出。名水労が1回表に2点を先取、名古屋市職労も2回裏すぐさま反撃、1点を返しました。その後も一進一退、名水労が1点リードのまま迎えた最終回、名市職労が猛攻撃で2点を返し、劇的なサヨナラ勝ちで優勝。手に汗握る好ゲームとなりました。



### つくるつ 通信員制度

#### 県本部機関紙コンクール

今年度の県本部機関紙コンクールは、8単組21紙1種6紙、2種11紙、3種4紙(紙)がエントリー。通信員

- ・制度や編集体制の充実など
- ・「みんなが参加する機関紙づくり」を運営基準に7月21日、審査委員会を開催。結果は以下のとおりです。

#### 【入選作品】

- 第1種(政令・都市職) ・優秀賞「学事労ユニース(名古屋市学事労)」
- ・入選「蒲郡市職組ユニース」

- ス(蒲郡市職)
- 第2種(町村職、政令・都市職の支部・分会) ・優秀賞「病院支部ユニース(蒲郡市職・病院支部)

- ・春闘スペシャル賞「春闘スペシャル」(名古屋市職労・衛生支部)
- ・5園があるで賞「のびっ子」(豊橋市職労・福祉保健支部・保育分会)
- ・みんなで作ってるで賞「ぱんだ通信」(半田市職・臨職・パート分会)

### 憲法を仕事とくらしに活かす

#### 運動にとりくもう!

県本部女性部  
定期大会

自治労連愛知県本部女性部第19回定期大会が7月24日、県本部大会議室で行われ40人が参加しました。大会は、文化行事やDVD「国連女性差別撤廃委員会報告」上映のあと1年間の運動を交流、学習と話し合いを重ね、多くの仲間を迎えて組織を強化しよう。男女平等に人間らしく生き

はたらく運動を進展させよう、など論議。先輩たちが勝ちとってきた要求や権利、次の世代と1歩でも2歩でも一緒に運動をすすめて、発展させようとの確認。地域に住む人びとのいのちとくらしを守り、憲法を仕事とくらしに活かす運動にとりくもうとの方針を決定しました。

### 単組定期大会 役員紹介

書記次長 高橋 浩子  
愛知管理職ユニオン (7月30日)

- 港職労(7月26日) 執行委員長 熊谷 一幸 副委員長 脇坂 宗勝 書記 長 高木 強 書記 次長 後藤 総 長久手町職労(7月29日) 執行委員長 児玉 剛 副委員長 名久井洋一 書記 長 長尾 啓子 書記 次長 浅井伸一郎
- 執行委員長 内藤 照彦 副委員長 畑田 恒伸 書記 長 加納 幸久 書記 次長 大井 宗人 副委員長 浦野 芳正 書記 長 鈴木大五郎 書記 次長 山口 晴彦 書記 次長 伊藤 義治 計 保手濱和幸